

2018年5月28日

株式会社ゲンロン

東浩紀がサブカル評論に再参戦！！
『ゲンロン 8 ゲームの時代』6月7日（木）発売！

株式会社ゲンロン（本社：東京都品川区 代表取締役社長：東浩紀）は、新刊『ゲンロン 8 ゲームの時代』（東浩紀編、本体価格 2400 円+税）を、2018年6月7日（木）に発売します。



特別付録 年表「ゲームの時代 1991-2018」

今号の特集は「ゲームの時代」。共同討議では、立命館大学の井上明人氏、美術評論家の黒瀬陽平氏、サブカル評論家のさやわか氏を招き、東浩紀が司会になり、この30年の日本のゲーム史を俯瞰しております。一時は世界のゲーム産業をリードした日本も、その位置にはありません。その「凋落」の歩みを、各年代の主要タイトルを取り上げながら追いました。重要作品がひと目で分かる年表も付属しています。

特集ではそれに加えて、『ペルソナ』シリーズを手がけたアトラスの橋野桂氏へのインタビュー、インディーゲーム配信サイト「PLAYISM」を運営するイバイ・アメストイ氏へのインタビューも行っております。ほか論考や翻訳論文、キーワード集なども収録しています。批評誌ならではの時代分析ですので、ぜひ手にとっていただければと思います。

加えて特集の外では、ロシアの思想家エレーナ・ペトロフスカヤとオレグ・アロンソンへ両氏へのインタビュー、気鋭の中国人哲学者許煜（ホイ・ユク）氏の新著の翻訳、タイの著名な小説家プラープダー・ユン氏のエッセイの翻訳なども掲載し、国境を越えた誌面を実現しています。

東浩紀はかつて、「オタク世代」の代表として、ゲーム批評・アニメ批評のリーダー的存在と見なされていました。その東のひさしぶりのゲーム批評への参加ということで、大きな注目を集め、発売前より Amazon でも「思想誌」部門 1 位にランクイン（5 月 24 日～）するなど、多数の注文をいただいています。

ゲンロン 8 ゲームの時代

■特集 ゲームの時代

[共同討議]メディアミックスからパチンコへ 井上明人+黒瀬陽平+さやわか+東浩紀

[補遺]視点、計算機、物語 黒瀬陽平+さやわか+東浩紀

[論考]メタゲーム的リアリズム 吉田寛／現代美術の起源 黒瀬陽平／ボタンの原理とゲームの倫理

さやわか／ゲームはどのように社会の問題となるのか 井上明人／ゲーム的行為、四つのモメント アレクサンダー・R・ギャロウェイ 訳・解題 | 松永伸司

[インタビュー]経験装置としての JRPG 橋野桂／ゲームは黒澤明を求めている イバイ・アメストイ

[キーワード]ゲームの時代 一〇の論点(前) 今井晋

[付録]ゲームの時代 1991-2018 年表

■特別掲載

[インタビュー]レーニン、収容所、ポストモダニズム オレグ・アロンソン+エレーナ・ペトロフスカヤ

■連載

中国における技術への問い 許煜(ホイ・ユク) /新しい目の旅立ち プラープダー・ユン／独立国家論 速水健朗／辻田真佐憲／福富渉／市川真人／海猫沢めろん

■English

Translations and Abstracts

書籍紹介

東浩紀編『ゲンロン 8 ゲームの時代』

| サイズ | A5 判

| ページ数 | 342 ページ (+綴じ込み年表)

| ISBN コード | 978-4-03-332840-9

| 定価 | 2400 円 + 税

| 発売日 | 2018 年 6 月 7 日

| 電子版 | あり (2018 年 6 月配信予定)

| 発行所 | 株式会社ゲンロン <https://genron.co.jp/>

問い合わせ先

株式会社ゲンロン

東京都品川区西五反田 1-16-6 イルモンドビル 2F

Tel 03-6417-9230 FAX 03-6417-9231

E-mail tokuhisa@genron.co.jp 担当 徳久倫康 (とくひさ・のりやす)